

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すきっぷ	公表日 2026年 3月 23日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・スペース分けなどし、遊び方を変えている ・家具に配置変更や、物品の整理などして対応している	・利用者が多い時には狭さを感じる事もある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・利用人数に対しては指定基準以上の人員配置です ・1対1での場面もあり手厚いと感じる	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・スケジュールボードの使用や、物品のカテゴリー分けを行い、見て分かりやすい環境にしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・出来る限り衛生的に保てるよう毎日の清掃や、床面、おもちゃの消毒を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		人数が多い時には、「高学年」「低、中学年」のグループ分けや、集中して行いたい活動の時は別部屋を使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・定期会議の中で振り返り、見直しを行っている	・目標設定と振り返りを意識して話合う
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・評価結果についてスタッフ会議の中で改善案を話し合う	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・道による実地指導を受け指摘箇所の改善に努めている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部研修、事業所内研修を行っている	・職員全員が研修に参加できるよう日程調整など行う
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・HP上で公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・面談時だけでなく日常の遊びの中や、送迎時の保護者の話を参考に計画をたてている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・支援前後に対話をするようにしている ・支援前後の話し合いの中で共有できるように努めている	・計画作成会議をパート職員を含めた全員で行う
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援前後のはなしあいのなかで、共有できるように努めている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・月のプログラムは職員で話し合っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・地域活動への参加等、昨年までの活動を参考にしながら話し合っている	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・支援前の話し合いの中で共有できるよう努めている	・時間が取れない事もあるため、出勤時間の調整という形で確保していく	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・支援後の話し合いの中で共有できるよう努めている	・全員の共有とらない事もあるので後日、出勤時間の調整という形で、伝達できる時間を確保する	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		・活動日誌への記載を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5				
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・送迎時や担当者会議の際に共有できている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		・就学直後の担当者会議の際に共有している ・相談支援員等を通じて情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		・コロナ前は定期的にあつたが現在は途絶えている	・来年度は復活させられるよう話し合っていた
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		・法人の代表が参加しています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・送迎時に日々の様子を伝えている ・要望があれば随時面談を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・情報提供は行っています	・今後トレーニングを行う予定
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・日常の関りの中や、送迎時、面談の際などに確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・希望があれば随時行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、ぎょうだいたい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・学習会や親子交流会、お母さんランチ会など開催しています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・要望が有れば受け止め改善しています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・会報やHPなどで情報を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・個々に合ったツールを使用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・地域イベントには積極的に参加している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・マニュアルは作成しているが周知しきれていないため、今後スタッフ会議の中で周知する時間を取っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPは作成している ・定期的に訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・重篤なアレルギーの児童は居ないが、保護者と相談のうえ対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・会議の中で話し合いはしている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			・契約更新時に年間計画を含め説明している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・事例集を作成、会議の中で情報共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・研修会の開催、会議の中で話し合いを行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・法人内で協議はしている。計画、実施している児童は居ない		